

波佐っ子だより

発行: 2022.2.18 浜田市立波佐小学校 浜田市金城町波佐イ558-2 TEL 0855-44-0028 Fax 0855-44-0032 E-mail haza@hamada.ed.jp 〈文責:加藤〉

学校評価

学校教育目標のもと今年度の教育活動を展開してきました。日々の学習や生活、行事に取り組む児童の姿からは、学校職員・児童共に「表現する子」「つながる子」「元気な子」を意識できたように思います。12月に行った学校評価から今年度の波佐小学校教育の成果と課題を明らかに

し、来年度につなげていきたいと思います。 以下にその集計と分析考察を載せます。

	項 目	達成率		
よく考え表現する子	目標を持って学習に臨み、見通しを持って取り組む			
	よく考え表現したり最後までやり抜いたりする	83%		
	学んだことを学習や生活で生かそうとする 読書をする ICTを活用する	83%		
	・学校と家庭では評価にばらつきがあった。どのような姿を目指すのかを学校と家庭や地域で共有する必要がある。 ・年間を通して、あらゆる場で表現することを意識し、個々に成長が見られた。 ・家庭での読書環境を整える必要がある。タブレットを有効に活用できた。			
っ	自分のよさ友だちのよさを知り、共に高めあう	85%		
ながる子	ふるさとに誇りを持ち自分の言葉で語る	90%		
	・自分や友だちの頑張りをみんなで共有でき、自己肯定感が高まった。 ・思いやりのある言動を意識できるようさらに取り組む。 ・地域の方との交流を通してふるさとへの愛着はさらに高まった。			
心も体も元気な子	進んで運動する、明るい気持ちで過ごす	81%		
	規則正しい生活をする	76%		
	美しいふるまい	75%		
	・制約がある中で工夫を凝らし、意欲的に体を動かすことができた。 ・メディアコントロールは未だ課題がある。生活リズムにも影響が見られる。粘り強く取り組むこと 果のフィードバックを工夫することが必要。 ・場にふさわしいふるまいができるよう継続して取り組む。	、課題や成		
安	教育環境の整備	95%		
心安全な教育環境	安全教育の推進	91%		
	危機管理	93%		
	情報発信	93%		
	・校舎や設備の保全、備品等の整理がしっかりとできた。 ・昨年来、熊の出没が多数ある。地域の方や関係機関と連携しながら児童の安全を確保していく。 ・学校を身近に感じてもらえるよう今後も情報発信を積極的に行いたい。			

自分のものとして語っています。の体験を学習や生活につなげ、年生の作文です。ふるさと波佐で『文集笹風』に掲載している一『

しすもほマしス りいらとぱたにのてなおうさきたの すさで °のんイたイいしうハおいこつお見っしゅんょ。す九 °んすぼ た カままこチりカとけばまてえののうこみ月へい °く か でのいう `こ `ましとミ `リがてあしいてカョしくにに中いなは 6 すーっにダれ工でたがツカンあくちたるもりかたごカは略もぜー。はぱーイかダ 、。わにりもりれゃ 。カらンぜ 、のり小 のかは も の ざいはズらマ小へかつンふまたんカリいだのみじン学 が がとざ ┗のざも `メ学中っけはきしもがリンまとまやかが校 あいし (1 をば「でコを校略てたすとたのハンはしいたざんでの るうが つ だしはき×つで かとだ スのっぱ°をチは`たうさわにき校 ぱ `<+ `は。こぶけべまて , () ょたま ッだぱせったミ 6 (1 じでかすサリス キといしすベツぼじ木とろんんしい でたす 。ツまや くき かのっ くめにを

スキー教室

年明けから積雪量をヒヤヒヤしながらチェックしていましたが、1月 19日にスキー教室を実施することができました。最高のコンディション の中、ゲレンデから見る景色の美しさと自然の中で思いっきり体を動か す気持ちよさを満喫することができました。

1年生にとってははじめてのスキー教室。板を履いて斜面を登るのは大変で、"上ってはずり落ちる" の繰り返し。それでも、滑り降りるスリルと爽快感はかつ別のようでした。来年はリフトに乗りたい

とヤル気でした。2年生以上の子たちは2グループに分かれて 行いました。久しぶりにスキーをする子たちは基礎練習で少 しずつ感覚を思いだし、午後にはかなり上手に滑ることがで きました。経験のある子たちは(素人のわたしから見ると) レベルの高い練習を行い綺麗に板を揃えて滑れるようになって いました。

波佐山岳会のみなさんには安全に気をつけながら子どもた ちがスキーを楽しめるように指導していただきました。ありが とうございました。



教室の風景

<オンライン授業>

1月末の休校期間中、 波佐小学校ではオンライ ン授業にチャレンジしま した。これまで授業でタ ブレットPCを使ってい



るとはいえ、各々の家庭と学校をつないで授業

|をするというのははじめてです。 操作が分からなくなったり、回線 が途切れたりするトラブルはあり ましたが、家にいながら、毎日友 達や先生とつながることができま 🚺 した。退屈することも、気持ちが

ダラけることも少なかったようです。前の休校 期間とは安心感が違いました。子どもたちは 「みんなとつながることができて嬉しかっ た。」「オンライン学習は何だかカッコよかっ た。面白かった。」「でも、やっぱり会うのが 一番!」などの感想を持ったようです。

<なわとび>

なわとび集会に向け業間休みに全校でなわと び練習に取り組みました。激励に行くと学年に 関わらず子どもたちは「数えてください」とア

ピールしてきます。無論、要望に応えます。手足 のだるさに耐え、顔を真っ赤にして跳ぶ顔を見 ていると、数える声にも力が入ります。

16日の縄跳び集会では みんなが自分の記録に挑 戦しました。そう簡単に 新記録は出ませんが、こ れからも続けてステップ アップする楽しさを味 わってほしいです。





<雪だるま鬼ふわふわ言葉大作戦> 児童会の企画です。相手を励ます言 葉、優しい言葉をたくさん使って、み んなの心をふわふわ言葉でつなげよ !と取り組んでいます。

<その他の風景>

最後の研究授業





2日(水) 児童総会 3日(木) 6年生を送る会

4 日(金) 委員会

8日(火)ラブック号

5日(火)卒業式予行練習

6 年生14:00下校

11:30下校 18日(金)卒業式

2 2 日(火) JP貯金

2 3 日(水) 給食終了 13:05下校 2 4 日(木) 修了式 離任式 11:35下校

25日(金) 春休み開始(~4/7)

< 令和 4 年 4 月 > 8日(金)始業式 11日(月)入学式

